**第１回大阪府日本万国博覧会記念公園運営審議会魅力創出部会記録《要旨》**

○日時　　平成２６年５月２２日（木）　１７：００～１９：００

○場所　　大阪府日本万国博覧会記念公園事務所　第１応接室

（吹田市千里万博公園１－１　万博記念ビル４階）

○議題　（１）「万博記念公園将来ビジョン（仮称）」について

（２）「太陽の塔」内部公開手法等について

（３）今後のスケジュールについて

○出席委員等　　更家部会長、中谷委員、生井委員、平田委員　（５０音順）

小泉専門委員、橋爪専門委員　（５０音順）

○事務局　　府民文化部長　ほか

**【開会】**

＜審議会規則第５条第２項の規定により、会議の成立を報告＞

＜府民文化部長挨拶＞

　　＜委員紹介＞

＜会議公開確認＞

**【議事】**

**更家部会長**

大阪万博の５０周年は、６年後の２０２０年。その頃には、万博記念公園が、すばらしい公園になって世界の人々に訪問してもらいたい。

万博記念公園には、広大な土地という資産があるので、これを最大限に民間的な知恵も入れて活用して、収益をみどりやスポーツ施設に投資し、全体として魅力が上がって　　いけば、と思う。ぜひ、そのような戦略、基本方針をこの部会で方向づけていきたい。

審議会の方針としては、できるものは、早めに仕上げながら、答申を出して行きたい。

委員の皆様には、ざっくばらんにご意見を言っていただきたい。

**事務局**

＜資料説明　資料３＞

**小泉専門委員**

万博記念公園にはすばらしい緑の拠点がある。大阪大学キャンパスと接しているので、両方をつなぐということは大事なことではないか。

現在、公園南側に正面入口はあるが、北側には入口がない。北側からも公園に入れる　　ようにすると、公園の活性化に大きな効果があるのではないか。病院にはいろいろな意味で、つらい思いをされている方々が多いので、そのような方々の「心の安らぎ」という　　意味もあると考える。

また、「交通アクセスが悪い」という意見をよく聞く。何らかの形で改善できればと　　考える。

私は、国立民族学博物館の運営に十数年関わり、外部評価委員会の委員長に就任して　いる。民博は、最高の人類学の博物館。建築物としても優れているし、収蔵されている　　ものもすばらしい。

ところが、それが世界的に知られていない。民博は、国際観光マップや国際ガイド　　　ブックに出てこない。民博だけでなく、万博公園も同様。世界の観光情報の中に入って　　いくということが必要。それは、こちらから積極的に働きかける必要がある。

海外から、京都や奈良に多くの方がいらしている。ここにもこういうものがあるということを知っていただく。それだけでも、大きな違いがある。

民博と大阪日本民芸館は、一体化すべきではないか。民博と民芸館を積極的につなげて、入場券も共通にして、民博に来られる方は民芸館も見られる。その逆もありということをすればどうか。

**更家部会長**

複数施設の入場を希望する方向けに、パッケージの割安料金を設定してインセンティブをつけると、入場者数も増えるのではないか。

７ページに「大阪大学による万博記念公園内での多様なプログラム展開」とあるが、　「連携の強化」も入れていただき、プログラム展開だけではなくて、入場ゲートのことも具体的に書いていただく方が、ビジョンとしてはわかりやすいのではないか。

また、「交通アクセスの改善」も書いていただきたい。

**小泉専門委員**

広報については、国際広報がないのではないか。海外からの観光客は、東京よりも関西に多く来る。すぐ近くまで来る人たちが開いたガイドブックやマップの中に、万博公園が入っているか入っていないかという違いは大きい。積極的に取り組んでいくべき。

**平田委員**

２０２０年にオリンピック・パラリンピックがあって、全国各地でいろいろな国の人々　とのふれあいや、スポーツを通さずともいろんなふれあいがある。オリンピックの前と後、パラリンピックの前と後と、２００カ国の人々によるいろいろな競技があり、その交流を　万博公園でもできる可能性がある。

その前年にはラグビーのワールドカップが、２０２１年にはワールドマスターズが開催　される。毎年、世界的なイベントに併せて万博公園で、何かが起こっているという状態を　　作っていくと人々に慣れ親しんでもらえる。万博公園を、そういったイベントを実施　　できる、聖地ようなものにすることが大事。

また、ガンバ大阪の新しいスタジアムが建設されるが、これまでガンバ大阪が試合を　　　　　　行っていた万博記念競技場についてはチームの歴史の中でかけがえのないものであり、簡単に壊さずにいろんな選手を生んだ拠点、レガシーとして残していくことも必要だと思う。

年間を通じてここをどうしていくのかを考えるときに、ガンバ大阪をどう活用するのか、ガンバ大阪の試合の前後に、文化、みどり、「太陽の塔」も含めて、来園者に楽しんで　　　　もらえるようにする。そのことによって、同じ時間帯に観客が一挙に来ることを緩和する　材料にもなる。

**更家部会長**

スタジアムが南側に移ったときに、人の移動がどうなるのか、自動車で来られる方、　　万博記念公園駅から歩いてこられる方の状況はそれぞれどうなるのか。三井不動産の施設で、吸収効果がどの程度あるのか。

東側エリアも広い土地なので、それを活用しながら収益をあげて、文化やみどりに投資していくという議論の中で、このエリアの活用は重要。ただし、万博記念競技場の地下　　には浄水施設があり、活用に制限がある。

**平田委員**

２０２０年のオリンピック・パラリンピックのときに、文化のイベントをどう構築するのかに関心があり、「太陽の塔」の公開などに期待する。それから、この審議会の議論を円滑に進めていく上で、既に決定されている計画のうち、変えてよいものと変えてはいけないものをテーブルに載せて議論すると、効率的。

**更家部会長**

万博記念公園駅前は、ゴールデンゾーン。付加価値が非常に見込まれる地域。ぜひ活用し、その収益を文化ゾーンやスポーツゾーンなどの収益の厳しいところに投入していく。最後には循環を良くして「トータル収益も上がりますよ」という戦略を皆さんに提案　　したい。

**生井委員**

今のインバウンドで、観光客が大阪に入ると、大阪城公園がメイン。そのまま京都に　　入る。あるいは、ミナミの方で１泊してショッピングの時間を作るという形。

万博公園は、京都と大阪の間にあるので、様々なことが考えられる。ツアーには時間　　コントロールが必要。どの場所に行っても、大体１時間が限界。

万博公園の日本庭園はすばらしい。間違いなくお客様に喜ばれる。しかし、中央口から入って日本庭園に行くのに、ものすごく時間がかかる。園内移動は歩くしかない。この　　問題を解決しなければならない。

万博公園に来なければ「見られないんだ」「食べられないんだ」「ここに来なければダメなんだ」というものがないと、外国人に来ていただくには厳しい。観光に要する時間が　　限られているので、アクセスの部分をどうするのかという問題を考えなければならない。

万博公園に行かなければいけないというものがあれば、１時間を１時間半や２時間に　することはできると思う。

**更家部会長**

飲食関係は、戦略的にまだできていない。これは魅力になる。

**生井委員**

海外の方は、日本の食事にたいへん興味をお持ちだし人気がある。万博公園で独自の　何かを作るとかすればよい。

**小泉専門委員**

ここに来なければ食べられないものは、知恵を絞って、どこか良い事業者を誘致する　とか、あらたにクラスターを作るとかすればどうか。

「太陽の塔」は、モダンアートの象徴としてすばらしいもの。内部も興味深い。でも、「岡本太郎」だけでは、世界的な発信として少し足りない。

しかし、その他の「モダンアート」のクラスターを作ったり集積したりすれば、世界的にも発信できる。「岡本太郎」のすばらしさもアピールできる。そのための仕掛けと　　　しては、何かをスポーツのイベントとあわせて組織すればどうか。

私のイメージは直島。瀬戸内海の交通の不便なところに芸術の魅力を感じてたくさんの人が行くし、安藤忠雄さんのような芸術家が協力されている。個人的に思ったのは、　　「太陽の塔」のそばに小さなものでいいから、安藤さんに何かを作っていただいて、そこにアート、オブジェを集める。

**更家部会長**

ガバナンスを議論し、費用を捻出して、コントロールできるプロデューサー的な人を　指名して、委員の皆さんに議論していただきながら何か方向感が出せれば、実現性は高いと思う。

**橋爪専門委員**

２０２０年は大阪万博から５０年目の大きな節目ではあるが、そこを目標にするのでは駄目だ。その次の５０年に向けて、どのような公園を作るのかということを考えるべき。

なぜかというと、「太陽の塔」は２０２０年に文化財になるのではないかと思っている。２０００年の大阪万博３０周年のときに、将来的に「太陽の塔」を世界遺産にするべき　　だということで、当時の万博協会の理事長と一緒にフォーラム等をやらせていただいた。

日本の法制度では、５０年経つと登録文化財の指定を受けることが可能になる。世界　遺産になるかはさておき、日本の戦後における有数の出来事があった場所として再度、　意識して、５０年の節目に、その次の５０年をどうしていくのかということを考えて　　いきたい。

万博公園は、強烈なメッセージを世界に発信した場所。大阪万博のテーマは「人類の　　進歩と調和」。従来の欧米の博覧会は、「進歩」ばかりだったが、アジアで最初の博覧会　　なので「調和」という言葉を付け加えた。

さまざまな解釈が可能であるが、諸民族、諸外国、国家との調和、あるいは、異文化　　　同士の調和であるとか、要するに「ハーモニー」という強いメッセージを出した場所。　　２０２０年から先においても、継続してそのようなメッセージを出す公園であるべき。

２０１５年にはミラノで、２０２０年にはドバイで万国博覧会が開催される。博覧会に関する人達が、世界中から万博記念公園に視察に来られる。そして「世界中の博覧会跡地の中で、こんなすばらしい場所はない」と言って帰られる。我々の先輩が整備されたもの。

それを、我々はより良いものにしていく。そんな大義のようなものを強く掲げることが大事。

文化やアートの面でも、イサム・ノグチさんの噴水が現存している。大阪万博当時には、国際美術館や音楽ホールがあり、世界中のアートが集まっていた。世界中のアーティストがここで舞台芸術やコンサートをされた。そういう大阪万博のときの、メモリーというか、レガシーがあるので、それをもう一度、次のフェーズで展開するということが考えられるのではないか。

あともう一点。大阪万博のとき「千里」という地名が世界中に知れ渡った。アメリカ　　やヨーロッパのホテルの枕もとの電話表示に「東京」「京都」「千里」と書かれていた。　　　それくらい当時は「千里」という、この北摂のこのエリアが国際的な場所として　　　　　知れ渡った。

最近、大阪大学で国際的な会議がよく開催されている。いわゆるＭＩＣＥ。大阪に　　　加えて、「千里」が日本を代表する国際会議の場所になっている。先ほどの公園北側　　　のゲートの話も、アフターコンベンションで、日本庭園や公園内でパーティーをされる　とか、「太陽の塔」の内部公開が実施される場合は、世界のトップクラスの研究者に　　　見ていただくことができる。万博記念公園はそれができる。国際会議などの誘致をする。

それを、この公園の中だけの話ではなく、「千里」「北摂」という広域の中の公園というところを強く出していただきたい。

**更家部会長**

２ページの「検討の視点」に、ひとつの言葉として「２０２０年をひとつの節目として今後５０年間の進歩と調和をさらに具現化できる公園のあり方を考えるべき」などと記載すればどうか。

６ページの「公園駅前周辺の活用」に「ＭＩＣＥも含めて検討すべき」を書いて　　　　いただきたい。

**小泉専門委員**

阪大では世界最高の国際会議がたくさん開催され、万博記念公園と自由に行き来できるようになるとよいということで、少なくとも交差点、地下道をつけて、この間の行き来が頻繁にできるようにすればよいのではないか。もちろん、コスト計算も必要。

「人類の進歩と調和」について「調和」をいうときに、民博は「調和」のシンボル。　　　　それを前面に出したい。

**更家部会長**

文化には資金が必要。そこをうまくガバナンスできる運営組織を考えないといけない。事業委託だけでは難しい。私個人としては、民間的活力も入れた地方独立行政法人が　　よいのではないかと考えている。これは、ぜひ議論して皆さんからもご意見をいただきたい。

**中谷委員**

私が一番懸念するのは、万博公園の大義が収益を上げることと見えること。２０２０年を目標にするのではなく、そこから先の大阪万博１００年というものを端的に表現する　ワードがないと、インパクトに欠ける。そのワード、大義があれば、どうすればよいかという手法にもつながっていく。

また、民の力にこだわりたい。まさしく「官を支えて官に頼らず」という大阪の文化というか歴史というか、そういったものを自分たちの力でやっていくことで、盛り上がっていくのではないかと考える。

広報活動にあたっても、公園の大義に向かって何かをしていくという全体像を作って　いかなければならない。

大義をしっかりと掲げたい。それは、難しい言葉でなくてもよい。

**更家部会長**

先ほど、民の力というご意見をいただいたが、今後公園を管理する組織としてのあり方について、ご意見をいただきたい。

**橋爪専門委員**

指定管理者制度では、最初に決めたことしかできなくなってしまう。マネジメント　　なので、収益があがったらそれを公園管理に充てるための柔軟性や自由度を一定担保　　できるような形がよいと思う。

**平田委員**

その方向で賛成だが、大阪府職員が直轄でこの公園を管理していくのは、人事異動も　あり難しいと思う。

万博公園の管理運営を２０２０年からさらに５０年発展させるために、ノウハウを蓄積している集団に任せるべき。何を任せて、何を任せないのかを明らかにしておき、一括で任せればよい。指定管理者制度というと、少し枠組みが違う気がする。

大阪府に前例があるかどうかわからないが、万博公園が独立行政法人から大阪府に来た特別のものということもあるので、府議会においても一定のご理解がいただける方向に　持って行けるのではないか。

運営を任せる組織にナレッジが蓄積され、財のキャッシュフローもここに集まるようにして、次へ向かっていくような形にしなければならない。直営で毎年予算について議論　する手法はそぐわないのではないか。私は、部会長の意見に賛成。

**更家部会長**

そのような方向感のなかで、事務局ともお話して、次回、委員の皆さんにご相談しな　　がら、案を整理していきたい。

続いて「太陽の塔」について、耐震補強工事と観覧の仕方と募金の集め方の３点に　　　ついて審議をお願いする。

**事務局**

＜資料説明　資料４－１～５－２＞

**更家部会長**

この件に関しては、橋爪専門委員が過去の経緯もよくご存知。ご意見をお願いする。

**橋爪専門委員**

「資料４」には３パターンが記載されているが、一番のポイントは、展示スペースを　　地下に用意するのかどうかというところ。私としては、展示スペースを設置すべきと　　考える。

「太陽の塔」は、今残っている中の空間だけで成立したものではない。地下の展示と　　空中の展示をつなぐエレベータータワーが「太陽の塔」。

大阪万博のシンボルタワーは、近年解体されたエキスポタワーであり、「太陽の塔」はテーマ館のエレベーターを囲っているエレベーター棟。従来の万国博覧会ではテーマ館という概念がなくて、大阪万博ではじめてテーマ館という概念で、博覧会全体の「人類の　　進歩と調和」というメッセージを伝えるための特別なパビリオンを作った。岡本太郎先生がプロデュース。

地下に「いのち」「ひと」「いのり」という人類が根源的に持っている感性の展示があり、「人類が進歩する姿」を示した空中に未来都市の展示があった。双方の展示の間に、原生生物から霊長類まで生物が進化した跡を展示する「太陽の塔」の内部展示があった。

「太陽の塔」だけを見ても、全部のストーリーが全然伝わらない。失われた地下の展示と空中の未来の展示がどういうものだったのかと説明しなければならない。そのためには、「太陽の塔」とはどういうものかを説明するスペースが必要。

したがって、「案１」がよいと考える。

**更家部会長**

中途半端なことをするよりも、きちっとしたことをやった方がよいと思うが、いかがか。

**平田委員**

私は、「案１」に賛成。

**小泉専門委員**

　　私も、「案１」に賛成。

**更家部会長**

委員の皆様も前向きなご意見かと思う。むしろ、これだけでいいのかという話。

事務局の試算では、３年後に少し入場者数が厳しい状態になる。放っておいたら　　　そうなるので、アートやそういったものを加えながら、この周辺に魅力を増していく。　　だから、最低限でも「案１」。これくらいの意見を審議会としては出したい。

**中谷委員**

　　私も、「案１」に賛成。

**小泉専門委員**

４年間の収支見込で、だんだん減っていってしまって、その後どうなっていくのか。　　止むを得ないと思うが、地下に岡本太郎を再現するにしても、民博と連携すれば、　　　　いろいろな組み合わせで全然違うものを置いて表現することができる。

そうすれば、リピーターも確保できる。何もせず、オープン後は入場者が減るのを　　　待つというよりも、何かそういう仕組みを考えられないか。

**平田委員**

ビジネスであれば、入場料収入だけでペイすることは考えない。グッズはないのか。　　　　もちろん、ガバナンス主体があっての話。しかし、直営でも入場料収入だけでペイするという発想は、ダメだと思う。

**更家部会長**

まずは、収入と支出のバランスをとること。グッズの売り上げは、イベントや投資に　　使おうという発想。

**平田委員**

大阪府として、高齢者向けの料金設定は考えていないのか。

**事務局**

公園入園料は、大人で２５０円をいただいているが、高齢者も同額。

**平田委員**

そのような料金体系であれば、それでもよいが。

**事務局**

「太陽の塔」入場料について、８００円は高いというご意見はあるかと思う。

**生井委員**

「大人」「個人」の場合、公園入園料で２５０円とって、さらに８００円とると。

**更家部会長**

「案１」の場合、公園入場料と「太陽の塔」入場料でセットにして１，０００円にするといったことも考えられる。

**事務局**

ご指摘のシルバー料金については検討の可能性はあるし、複数の施設のチケットを　　セットにして割安にする方法など、いろいろあるかと思う。

料金については、条例事項となるが、検討してまいりたい。

**生井委員**

海外に行くと、ミュージアムショップが充実している。そこで収益を上げている。　　　そういう部分の収入について、部会長は他の投資に向けたらよいとおっしゃったが、　　入場料に充当することで、より多くのお客様に来ていただくことも考えられるのでは　　ないか。

**小泉専門委員**

ミュージアムグッズは大切。民博でも欠けているもののひとつ。メトロポリタン　　　ミュージアムなど、とにかく種類が多く、芸術品に近い高級品もある。そういったもの　　もあったらよいと思う。

**平田委員**

入場料が高いと、グッズを買う人が減少する。関西は「価格重視」というところがある。

**更家部会長**

当初８００円にしておいて、グッズ売り上げが見込まれるようになれば６００円にすることは、可能ではないか。

**平田委員**

極端な話、「太陽の塔」の入場料は、無料でもよいくらい。グッズの売り上げが　　　　　見込める。

**橋爪専門委員**

グッズに関しては、岡本太郎記念財団に著作権があるので、財団と話をしなければ　　ならない。

**平田委員**

大阪府側には、知的財産権が何もないということなのか。

**事務局**

「太陽の塔」に関する商品開発ということになると、財団との調整が必要になってくる。万博機構の時代も、ケースバイケースで個々の事案に応じて対応されてきた。

**平田委員**

知的財産権について明らかにならないというのはあり得ない。はっきりさせるべき。

**更家部会長**

知財のことでもめだすと、クリアにするのに弁護士を通じて半年や１年はかかる。　　「太陽の塔」は、早く耐震工事をして、内部公開をやりましょうという考え方。

平田委員は、グッズ販売も早く段取りして、入館料をできるだけ下げるか、ゼロにして、グッズで儲けたらどうですかというご意見。

**事務局**

これまでの実態があるので、基本的に一定の知財は財団側にあるという整理はついて　いる。収益を「太陽の塔」の維持管理等に使うということであれば、協議が必要になる。

入場料については、条例で規定する。オープン前に議会にお諮りして決めていただか　なければならない。

耐震工事をするということと、入場料をいくらにするのかということは、同時に　　　決まっていなければならないわけではないと考える。なお、現時点では、平成２８年度末の内部公開を想定。

**更家部会長**

入場料についての議会の了承がそれまででよいということであれば、知財の話、グッズの話もはっきりさせて、もう少し収益を委員の皆様に見せていただいた方がよい。

**事務局**

早急に整理させていただく。

**更家部会長**

「太陽の塔」入場料については、先送りさせていただくことでよろしいか。

（異議なし）

募金について、事務局提案は、クラウドファンディングをやりたいというのがあって、ただし行政として手数料を払うというケースがなかったので、審議会として、どう理解　して答申するのかということが最大のテーマ。

目標額１億円。手数料が１５％の場合だと１千５百万円。さらに、いろんなグッズ作成でお金もかかるので、１億円集めて、実収入が７千万円くらいか。

ただ、府庁も人がいないので、収入業務とか発送業務もなかなかできないので、私と　　しては、ひとつの新しい手法として、こういうことも検討していただいた上で、妥当性があれば問題ないとは思うが、皆さんのご意見はいかがか。

**平田委員**

必達を目指すのなら、こういうやり方もあると思う。

**小泉専門委員**

やってみたらいかがかと思う。

**事務局**

決してお金が足らないから募金をするのではなくて、「盛り上がり」をいただきたい。みんなで成し遂げて「太陽の塔」を盛り上げて行きたいという思いがある。

**橋爪専門委員**

クラウドファンディングは、「寄附型」「購入型」「投資型」があるが、これは「寄附型」。寄附者に何のリターンもない。

**更家部会長**

ふるさと納税制度を活用するので、税の優遇措置がある。

**橋爪専門委員**

ふるさと納税をクラウドファンディングでやるということだろうか。「寄附型」にしても、名前を入れてもらえるなど、何らかの特典があるので「購入型」ともいえる。

過去に、「太陽の塔」の修理を行ったときに、信楽焼タイル部分を割ってグッズを　　　作ったり、顔の部分の金箔を割ってグッズを作ったりした。

「太陽の塔」が好きな人にとって、本物のかけらの一部がもらえるのは、結構人気が　　あった。

**更家部会長**

民間を入れながらやっていった方がよい。行政だけでやると、なかなか大変。

**橋爪専門委員**

「EXPO’70パビリオン」のときは、少しずつ修理をするために、広島で特別展を開催　　したり、東京で展覧会を開催した。今回も「太陽の塔」を改修するのに、全国を回ることも考えられる。

**更家部会長**

熱い思いを持った方が、語り部になって、各地でやられると求心力になる。「太陽の塔」の顔を持っていったりしたら、集まるような気がする。クラウドファンディングを検討することでよろしいか。

（異議なし）

**事務局**

＜資料説明　資料６＞

**更家部会長**

配布されたスケジュール案には、議会の日程なども入れていただきたい。

本日の議案は以上。次回は７月１４日。ここが中間答申のターニングポイント。それ　　までに、ご意見があれば事務局にお伝えいただきたい。

それでは、第１回魅力創出部会を終了させていただく。

以　　上